父と擬せられる男が大叔父にあたり、しかもすでに死亡している場合の親子鑑定例

メタデータ	言語: jpn 出版者: 日本法医学会 公開日: 2013-08-27 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 石谷, 昭子, 伊藤, 信彰, 河原, 信吾, 長池, 知恵子, 森村, 佳史, 東, 裕子, 廣田, 忠臣, 南方, かよ子 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10271/1820

B15 父と擬せられる男が大叔父にあたり、しかもすでに死亡している場合の親子鑑定例

石谷昭子、伊藤信彰、河原信吾、長池知恵子、森村佳史、東裕子、廣田忠臣（奈良医大）
南方かよ子（浜松医大）

法医学で取り扱う親子鑑定において、死亡した男を父として訴える例は稀なことではない。その場合、死亡した男の血縁者から、その男の遺伝形質を推定して父子鑑定を行なうことになる。

我々も最近、死亡した男を父として訴える認知請求事件の鑑定を依頼された。ただし、この事例の特殊性として、この父として疑われている男が、原告の母の叔父、すなわち原告の大叔父に当たるということがある。このように男が近親者である場合は、たとえ父親でなくても一般人よりはよく似かよった遺伝形質を持っているはずであるから、父権肯定確率を通常行なわれている方法で計算すると過ちを生じることになる。通常の父権肯定確率計算では一般男性集団との比較で父親らしさを検討するものであるが、この場合は母の叔父の集団と比較するべきであると考えられる。この考えのもとに、我々は、このような場合の計算方法を考案し、それにより父権肯定確率を計算した。

事例

原告は、３９才の男性で、約半年前に胃癌で死亡した男を父として認知請求を行なった。原告の母は父と疑われている男の妻であるが同時に男の兄の子、即ち姪にあたる。いいかえれば、男は原告にとって大叔父にもあたる。原告の同胞としては一人の姉がおり、この姉のみ、母と男の実子として認知されており、原告は何らかの理由で認知されていないとのことであった。

この場合、死亡した父と疑われる男の胃組織包埋ブロックが、男が生前入院していた病院より提供された。

材料及び方法

原告、母および姉より血液を採取し、これより赤血球およびリンパ球を分離し、それぞれ赤血球型検査、ＨＬＡ型検査およびＤＮＡ分析に用いた。上記３者の唾液塗布濾紙を用いて分泌型検査を実施した。

赤血球型としては、ＡＢＯ式、Ｒｈ式、ＭＮＳｓ式、Ｐ式、Ｄｕｆｆｙ式、Ｋｉｄｄ式血液型について赤血球凝集反応により検査を行った。但し、ＡＢＯ式においては、死亡した男の胃組織標本を作製し、これを用いて免疫組織学化学検査を行い、型を判定した。分泌、非分泌型については、唾液塗布濾紙を試料として吸収試験法により検査した。

ＨＬＡ型については比重法によりリンパ球を分離し、これを用いて、Ａ、Ｂ、Ｃ、ＤＲおよびＤＱローカスについて、微量リンパ球細胞毒性試験法により検査した。

ＤＮＡ分析については、ＨＬＡ型検査後のリンパ球をProteinase K 消化し、phenol-chloroform抽出によりＤＮＡを抽出した。男の胃組織パラフィン包埋ブロックより、約５μｍの厚さの切片５枚を採取し、これをキシレンで洗浄することによりパラフィンを除去した後、リンパ球と同様にＤＮＡを抽出した。

各抽出されたＤＮＡを用いて、ＨＬＡについてはＤＲＢ１およびＤＱＡ１遺伝子について、３者の血清学的検査結果より推定される男の型の確認を行なった。ＳＴＲについてはＧＳＴおよびＩＮＴの２種のマーカーについてしらべた。

父権肯定確率計算

まず最初に、母と、実子とされる姉の血液型より、男の血液型と、その出現頻度を推定し、この値を用いて原告の父としての父権肯定確率を求めるという浅野ら（1980年）の方法に従い計算した。

この場合、全赤血球型より計算された父権肯定確率は、０．７９０、ＨＬＡ型より計算された父権肯定確率は０．８６６、これらの総合父権肯定確率は０．９６０であった。

しかし、実際は男は原告の大叔父にあたるのであるから、このことを計算に算入するべきである。そこで我々は以下のごとく計算式を考案した。

それは、小松の式において、Ｐｘはそのままで、Ｐｙを変化させたもので、すなわち、母（Ｍ）にとって叔父の一人である男（Ｆ）、Ｍにとって叔父の集団であるＦＢとのどちらが父親らしいかを比較するものである。

この方法により計算したところ、全赤血球型より、０．６０８、ＨＬＡ型より０．６４９、これらの総合父権肯定確率は０．７４２と非常に低いものとなった。そこで、次にＳＴＲ分析の結果をこれらに加えて計算したところ、男の原告に対する総合父権肯定確立は０．９９５となり、Hummelの解釈による「きわめて父親らしい」という結果を得ることができた。